

**熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況**

【令和3年（2021年）8月5日】

**1 熊本県における現状認識**

全国的に、第5波による感染拡大が継続している。デルタ株への置き換わりも進んでいることから、感染拡大の速度も増加しており、各都道府県が対策の強化を行っている。特に大都市部においては、医療の逼迫も進行しており、東京都においては通常医療の制限が行われるなど、住民の生命や健康への影響が懸念される状況に至っている。こうした状況から、本日、本県を含む8県がまん延防止等重点措置区域に追加された。

本県において、7月29日から8月4日までの新規感染者数は616人（リンク無し感染者数は調査中の66人も含めて251人）、病床使用率は8月4日時点で33.4%で増加傾向である。これらから総合的に、本県の感染状況は国分科会ステージ4（レベル5 厳戒警報）にあると判断する。

本県においては、これまで段階的に対策を強化しているが、県内の様々な地域で感染が拡大しており、第3波や第4波同様、酒類提供飲食店や会食での感染が目立ちつつある。また、こうした事例からの家庭や職場を介した波及について、デルタ株の影響により、これまでよりも多数の感染者が生じているため、これまで以上に波及を起こさない対策が重要となる。

現状を踏まえ、8月4日に国に対し、「まん延防止等重点措置」の適用について要請を行い、本日適用を受けた。重点措置の対象区域は感染が急拡大しており、他地域への波及効果や病床への影響が大きい熊本市とし、酒類の終日提供自粛要請など、より強力な対策により、感染の抑え込みを図る。

県民・事業者の皆様には、県からの要請に応じていただくようお願いする。また、基本的な感染防止対策をより徹底していただき、特に普段一緒にいない人との交流は感染リスクを増すことを念頭に、十分注意していただくようお願いする。

前回（7/30発表）	今回（8/5発表）
<b>国分科会ステージ3（レベル5 厳戒警報）</b> なお、感染状況は増加傾向が見られる。	<b>国分科会ステージ4（レベル5 厳戒警報）</b> なお、感染状況は増加傾向が見られる。

## 2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (8月5日現在)

- 全国的に、第5波による感染拡大が継続している。デルタ株への置き換わりも進んでいることから、感染拡大の速度も増加しており、各都道府県が対策の強化を行っている。特に大都市部においては、医療の逼迫も進行しており、東京都においては通常医療の制限が行われるなど、住民の生命や健康への影響が懸念される状況に至っている。
- 熊本県の7月29日から8月4日までの新規感染者数は616人（リンク不明感染者数は調査中の66人も含めて251人）、8月4日時点の病床使用率は33.4%で増加傾向にある。新規感染者数が国分科会ステージ4の基準である週437人を大きく超えている状況を重視し、熊本県の感染状況は国分科会ステージ4（レベル5 厳戒警報）に引き上げることが妥当である。
- 熊本県においては、リスクレベル4や5の段階から飲食店への営業時間短縮要請を開始されている。感染症対策は、早期に開始することが非常に重要であるため、この対応は有効と考えられる。一方、デルタ株の感染性は米国CDCでは水痘と同程度と推計されるなど、相当に高いと考えられており、これまでと同様の営業時間短縮要請では感染拡大を抑え込めない可能性がある。その場合、医療に一気に強い負荷がかかることとなり、地域医療への影響が非常に大きくなる。
- 今般、熊本県は国の「まん延防止等重点措置」の適用を受けることとなったが、必要な対策を果敢に行い、ここで感染を迅速に抑え込む必要がある。
- 対策の効果発現には一定の期間を要するため、もう暫く感染は拡大する可能性が高い。県・熊本市においては、県民・市民の命を守ることを最優先に、医療提供体制の維持に努めていただきたい。
- なお、ワクチン接種を進めることも非常に重要である。ワクチン接種が完了している方が感染する事例も確かに見られているが、他国の状況を見ても、一定の感染防止効果があると考えられるほか、発症及び重症化防止効果が顕著であることは間違いない。多くの方がワクチンを接種したうえで基本的感染防止対策を徹底することで、効果的に感染者を減少させることが可能と考えられ、御自分や、身近な大切な方を守ることに繋がる。県・熊本市においては、特に若い世代に向けてワクチンの効果等の正確な情報発信を行うなど、円滑な接種体制の継続を行っていただきたい。

## 【国新型コロナウイルス感染症対策分科会の示す感染状況の指標】

	医療提供体制等の負荷				感染の状況			早期探知指標
	①医療の逼迫具合			②療養者数	③検査陽性率 県内全検査	④新規陽性者数 週合計	⑤感染経路不明割合 直近一週間	新規陽性者数の前週今週比  前週今週比が1.0を超える状況が継続する場合には注意が必要
	入院医療		重症者用病床					
	確保病床使用率	入院率※1	確保病床使用率	週移動平均	週合計	直近一週間		
ステージ4	50%以上	25%以下	50%以上	524人以上	10%以上	437人以上	50%以上	
ステージ3	20%以上	40%以下	20%以上	349人以上	5%以上	262人以上	50%以上	
ステージ2	感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階							
ステージ1	医療提供体制に特段の支障がない段階							
8月4日	33.4%	32.5%	0.0%	622人	7.9%※2	616人	251人(40.7%)※3	2.63
7月28日	15.9%	45.9%	0.0%	205人	5.1%	234人	83人(35.5%)	4.50
7月21日	6.0%	72.9%	0.0%	48人	1.6%	52人	18人(34.6%)	4.33
7月14日	3.6%	81.5%	1.8%	27人	0.4%	12人	6人(50.0%)	1.33
7月7日	3.5%	65.6%	1.8%	32人	0.3%	9人	5人(55.6%)	0.36
6月30日	8.1%	79.0%	8.9%	62人	0.6%	25人	5人(20.0%)	0.69
6月23日	10.9%	77.1%	16.1%	83人	0.9%	36人	13人(36.1%)	0.88

※1 療養者数が人口10万人あたり10人以上（174人）の場合に適用、

※2 8/3時点

※3 リンク未判定66例をリンク不明として含む

## 【熊本県リスクレベル基準】

【目的】患者数が増加に転じるタイミングを早期に捉え、警戒を発する基準を設定することで、感染拡大防止に向けた対策の徹底や県民への早期の警戒を呼び掛ける。

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付けられるか、また、具体的な対策は本県あるいは全国の感染状況及びその傾向（拡大・縮小）を踏まえ、実施する地域やその内容も含め、総合的に判断する。

リスクレベル	県の判断基準	対策の考え方・方向性	想定状況
レベル5 厳戒警報	県内で ①新規感染者 <b>150</b> 名以上 かつ ②病床使用率 <b>25%</b> 以上 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>重症者、ハイリスク者の救命を最優先とした入院調整。</li> <li>大規模クラスターや感染拡大の確実な封じ込めのための体制整備、検査実施等。</li> <li>メリハリを利かせた接触機会の軽減のため、強い制限を要請。</li> </ul>	複数の大規模クラスターの発生
レベル4 特別警報	県内で ①新規感染者 <b>50</b> 名以上 かつ ②リンク無し感染者 <b>25</b> 名以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域でのクラスター発生及びクラスター連鎖の予防のため、保健所への人的支援及び幅広い検査、原因施設への指導等を行う。</li> <li>メリハリを利かせ、これまでクラスターが発生した施設等から順に感染拡大防止対策の強化を要請。</li> </ul>	感染の更なる拡大と、クラスターの散発／連鎖
レベル3 警報	県内で ①新規感染者 <b>30</b> 名以上 又は ②リンク無し感染者 <b>15</b> 名以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域でのクラスター発生を予防するため、感染増加の原因に着目し、優先順位を付け、特にハイリスクなところから感染防止対策の強化を図る。</li> </ul>	感染の拡大と、小規模クラスターの発生
レベル2 警戒	県内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい生活様式や、基本的な感染防止対策の徹底を啓発</li> </ul>	
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②県内では新規感染者が未発生		
レベル0 平常	国内で新規感染者が確認されていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な対策を啓発</li> </ul>	

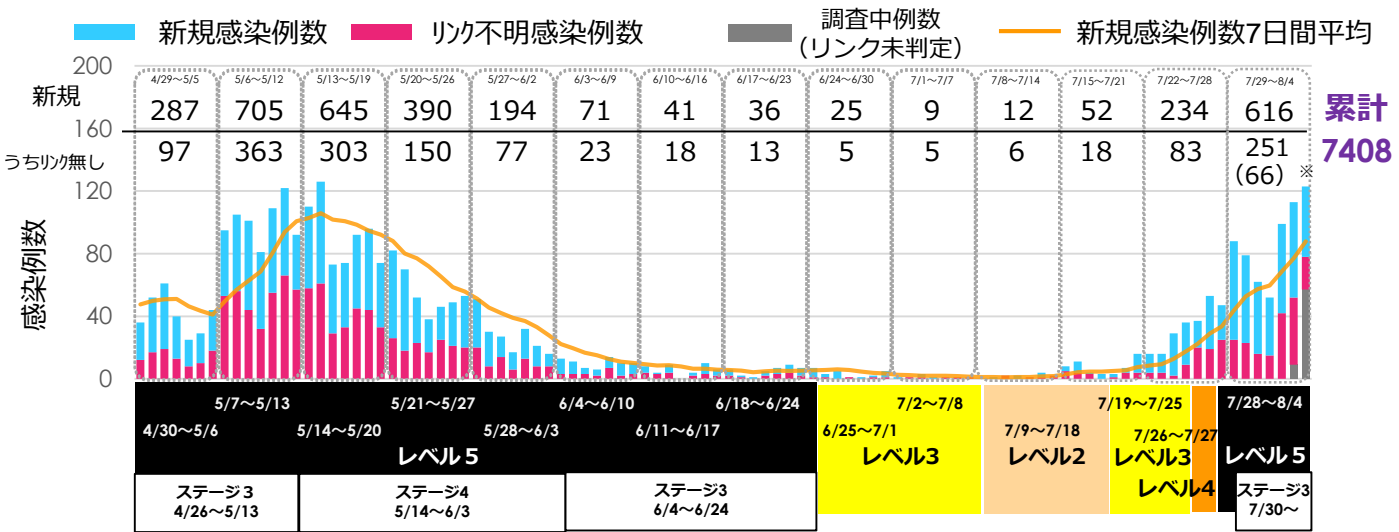
※これ以上の爆発的な感染拡大や、国が緊急事態宣言を行う場合の対応は、状況に応じ、更に強い措置を検討する。

※これまでの感染防止対策の経験を踏まえ、メリハリを利かせた対策を行うことを基本とする。

※国の分科会が示した指標によるステージ分類についても、参考指標とし、毎週公表する。

※今後の感染状況等の最新の知見に合わせ、必要に応じて改定を検討する。

## 【熊本県における新型コロナウイルス感染者発生状況（4/29~8/4）：確定日ベース】



・リンク無し感染者数は、調査により変動することがあることに注意 ※( )内はリンク未判定の数。リンクなし感染者数に含む。

## 【保健所ごとの感染例の確認状況】

保健所名	これまで	7/29~8/4		保健所名	これまで	7/29~8/4	
		陽性者数	人口10万人※あたり			陽性者数	人口10万人※あたり
熊本市保健所	3835	354	48.0	宇城保健所	268	30	28.9
有明保健所	701	65	41.7	八代保健所	323	26	19.2
山鹿保健所	222	32	63.9	水俣保健所	154	29	64.9
菊池保健所	587	38	20.6	人吉保健所	148	5	6.0
阿蘇保健所	131	3	5.0	天草保健所	77	13	11.9
御船保健所	346	21	25.7	計	6792	616	35.2

※ 各保健所管内の人口は平成31年4月1日のものを使用